

## 鉄道構造形式検討委員会について

### 1. 設置の必要性

- ・ 本事業は、政令市の玄関口である堺東駅周辺地域における都心まちづくりの中核事業として堺都心のまちづくりプランに位置付けられており、平成 21 年度に国から着工準備採択を取得し、事業化に向けて調査・検討を実施している。
- ・ 平成 23 年 3 月に東日本大震災が発生し、地震に対する備えがより一層必要となり、鉄道構造形式の決定にあたって、事業区域に縦断的に近接する上町断層による影響を十分に検証し、検討を進めていくものである。
- ・ これまでの鉄道構造形式に関する検討において、上町断層による影響、特に断層変位による影響を十分に考慮し、詳細な検討が必要であることが判明したところである。
- ・ ついては、専門的な知識を有する学識経験者等の意見を踏まえて詳細な検討を進め、最適な鉄道構造形式を選定するため、検討委員会を設置するものである。

### 2. 検討の前提条件

- ・ 現在の鉄道位置での事業実施を前提とする。（路線変更は伴わない。）
- ・ 公共事業として安全性を保ちつつ、復旧性を考慮しながら、最適な費用を踏まえた鉄道構造形式を検討する。

### 3. 委員会での検討内容

- ・ 事業区間における上町断層帯の影響の想定（断層変位の推定 等）
- ・ 上記に基づく最適な構造形式の選定

### 4. 構成員

- ・ 上町断層の影響を考慮した鉄道構造形式を決定するにあたり、専門的な知識を有する者の中から委嘱

土木耐震設計の専門家	2 名
地震動の専門家	1 名
地質学（断層変位）の専門家	1 名
鉄道構造物における耐震設計の専門家	1 名